

紙面から

教育随想

「教育とは出会いなり」  
日本タツパーウェア株式会社  
岡崎製作所所長  
財部 邦英氏

羅針盤

A君の旅立ち  
美川中学校長 牧野 好博

この人に聞く

和太鼓職人  
四代目 三浦 彌市氏

一年のあゆみ

平成十一年度研究発表校

平成十一年度教育研究論文入賞者

ふれあい

A子とOさんの出会い  
幸田小学校 内藤 隆之

師弟同行

前新香山中学校 鈴木 祐男  
梅園小学校 鈴木 勝久

フォト・ヒストリー岡崎の教育  
校歌誕生 (昭和三十八年)



3月号

平成12年3月1日

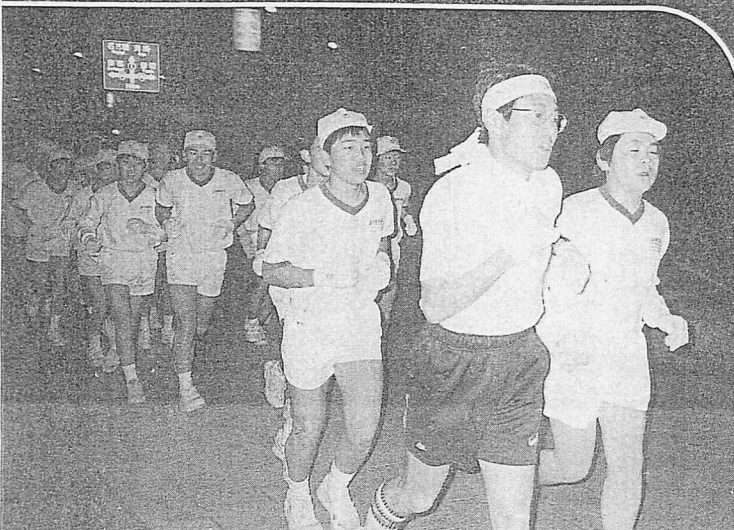
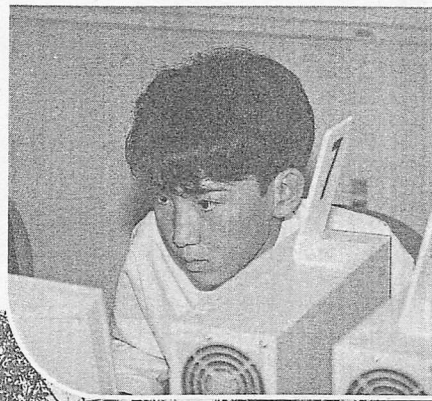
発行/編集  
岡崎市教育委員会

今月の学校紹介  
～城北中学校～

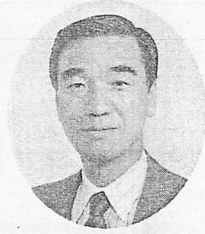
真面目

精一杯

自主・自律



## - 教育随想 -



日本タツパーウェア株式会社  
岡崎製作所所長

## 財部 邦 英

## 教育とは出会いなり



経験豊かな諸先生方に私から教育について申し上げられるはずもございません。私自身の体験を紹介させていただきます。

体験一。小学四年当時の私は引つ込み思案で、成績も普通の目立たない存在でしたが、私を変えた廣野貞子先生との出会いはまさに運命的でした。

先生は堂々たる体躯と大きなダミ声で「財部君すっかりやいなさい!」「良くがんばったね!」「すばらしい!」と折に触れ繰り返されるのです。人から誉められたことのない私は最初妙な気持ちでしたが、不思議なことに、徐々にみんなと話ができるようになり、成績も上がってまいりました。

当時は魔法にかかったような思いで、先生のお導きに気付くべくもありませんでしたが、今にして思えば、これこそ教育の神髄かなとも思います。先生には一年間しか担任していただけませんでした。お付き合いは今も続いています。

体験二。今から十二年ほど前、米國フロリダ州のペンサコーラ市に家族を連れて赴任いたしました。子供達は十二歳と十一歳。適当な学校に就学させなければなりません。英語はABCさえ学んでおりません。当時私自身の感じた不安や緊張から想像するに、子供達のそれは何層倍かのものであったはず。最初を訪れた公立小学校では英語ができないことを理由に、にべもな

く断わられました。英語のできない子供を教育する学校(ESL)を勧められ通学させたものの、覚えてくのは中国語やスペイン語ばかり。これではと、市中のすべての学校を訪問する覚悟で、まずカソリック系のプライベートルスクールの訪問。全く幸運なことに、ここでドロリータ校長先生と運命的な出会いをするこ

とになります。先生に熱心に入学のお願いをする

と、「わかりました。今日からどうぞ」とおっしゃるではありませんか。思わず「子供達は英語を習ったことがありません」と申し上げると、「それは問題ではありません。あなたの子供達には学習意欲があります」とおっしゃったのです。

英語の問題解決のために学校は二人の臨時教師を雇って下さり、私共は通訳を一人雇いました。驚くことに子供達の成長、順応はことの他速く、通訳はわずか一日で、臨時教師も一年ほどで十分でした。子供達は言葉を超えてコミュニケーションできるものなのです。子供達が現在あるのはドロリータ校長先生のお陰です。

以上二つの私の拙い経験より敢えて結論を導くならば、「教育とは出会いなり」ということでしょうか。

(たからべ くにひで)



## A君の旅立ち

美川中学校長

牧野 好博

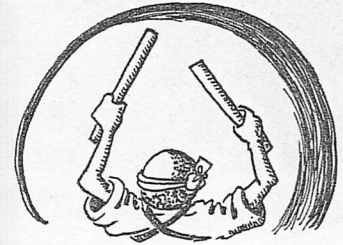
A君とのつきあいは丸二年で、この三月には胸を張って高等学校へ進学する。二年間といっても、実質は一年と四十日程であった。二年生に進級したA君は、一、二学期の出席は皆無。三学期になってぼつぼつと四十日程登校した。調べてみると、一年生での出席日数は百日程で、後半から不登校になったようである。一年、二年の担任に聞いても、不登校に陥った理由・原因は、はっきりしないとのことであった。

そのA君が、二年の三学期になって立ち直りのきざしを見せ、三年生に進級してからの欠席数は、わずか一日だけである。完全に不登校を克服し、学級の係活動や部活動でも充実した毎日をご過ごした。夏の大会では正選手として大活躍もした。

A君が不登校から立ち直った理由



# ふるさとシリーズ この人に聞く



## 和太鼓職人

四代目 三浦 彌市 氏

「和太鼓は、祭りや盆踊りなどの日本の伝統芸能には欠かせないものです。和太鼓の響きは、昔から日本人の心にある音なのです。」  
三浦彌市さんは、和太鼓の魅力をこう語られた。

三浦さんは、中学生のころから父親の太鼓作りを手伝い始め、高校卒業後は働きながら家業に携わられたという。ようやく一人で太鼓を仕上げられるようになったのは、二十五歳を過ぎたころからだったそうだ。そして十三年前、先代が亡くなられた後、四代目として家業を続けられ

てきた。

和太鼓の響きや音色のよさは、胴の空洞部分の広さと皮の厚みと張り具合によって決定される。太鼓の大きさに合わせて皮を削る技術や胴を丸く美しく仕上げる技術は特に難しく、職人としての経験と勘の鋭さが求められるそうだ。

「技術的になかなか父親を超えられませんが。」

と語られる三浦さんの言葉から、この仕事の奥深さと職人としてのこだわりが伝わってくる。

十年ほど前から和太鼓ブームが訪れ、太鼓を楽しんでたくグループが増えてきた。それに伴い、音に対する注文も厳しくなってきた。三浦さんはこうした時代の変化をも敏感に受け止め、太鼓作りに生かされている。また、ご自身も幸田町を起点に活動しているグループに参加し、各種イベントなどで太鼓をたたかれている。

昨年から、二男の方が後継者として仕事を手伝われるようになった。自分と同じ道を歩み始めた息子さんに対して「長く続けてほしい」としみじみとおっしゃったのが印象的であった。

そして、これまでの和太鼓職人と

しての人生を振り返って、三浦さんは次のように語られた。

「自分が作った太鼓を喜んでたいたてもらったり、それを聴いた人たちから『いい音ですね』と言われるたりすると、うれしいですね。」

「伝統文化の仕事に携わることができると、幸せを感じるようになりました。苦労も多いけれど、仕事をやっていて楽しい。職人としてのおもしろみを感じています。」

笑顔で話される三浦さんの何気ない言葉のなかに、和太鼓職人としての誇りと長年にわたる研鑽によって培われた確かな自信がうかがわれた。

氏名 みうら やいち  
生年月日 昭和三十年六月四日  
住所 六供町字杉本三十二―二



も、実ははつきりしない。二年の担任であったB先生に聞いたところ、家庭・本人との連絡、関係だけは断ち切らないように努めてきたと言った。電話連絡でも、落ち着いた応答ができていたようである。結局、仲の良い友達の働きかけが、最も効果があったように思うとのことであった。

不登校児童生徒が増加傾向にある近年、A君の事例はともうれいできごとである。担任や友達の取り組み・働きかけに感謝したい。不登校克服に向けて、登校刺激をどのように与えたら良いのか、また不登校に陥る原因や立ち直る理由なども千差万別で、難しさを感じる。不登校生徒を抱えるなどの担任も、心を痛め最善を尽くしていると思うが、やはり忘れてならないことは、私が担任をしている大事な一人の子だということ。彼らへの思いであろう。また、担任の思いを支える学級の子供たちの受容しようとする雰囲気であろう。

担任や学級の子供たちの働きかけと、それを援助する学年・学校全体での協力体制を築くことよってA君のような事例が一つでも多くなることを願って止まない。

A君の前途に、幸多からんことを祈るものである。

# 一年のあゆみ



▲全国アーチリー大会で優勝した東海中学校の加藤さん



▲東海中学校総合体育大会で優勝した美川中学校陸上部の酒井君

10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	5	5	4	4						
11	10	10	10	6	3	3	2	1	26	23	16	5	3	29	28	27	24	20	17	15	6	29	28	27	24	23	21	21	20	7	14	4	30	16	15	1

- ・新規採用教員55名辞令伝達式
- ・現職教育委員会総会(六ツ美西部小)
- ・第43回岡崎市中学校総合体育大会(5・29 水泳6・19)
- ・平成10年度全国学校関係緑化コンクール 文部大臣賞 竜谷小学校
- ・平成11年度環境保全関係活動功労者表彰
- ・愛知県知事表彰 矢作北中学校生徒会
- ・中学生呼称特(フフホト)市訪問(22)
- ・第13回中学生の主張コンクール(せきせいホール)
- ・第52回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(22)
- ・岡崎市小学校球技大会(26)
- ・平成11年度森と湖のある風景画コンクール
- ・金賞 竜南中三年 森あゆみ
- ・平成11年度西三河中学校選手権大会(28)
- ・第26回岡崎市民大学講座(市民会館)
- ・生島ヒロシ氏(7・24)芳賀 徹氏(8・7)明石 康氏(8・21)
- ・森田健作氏(8・28)佐々木和夫氏(9・25)桐島洋子氏(10・2)
- ・第37回岡崎市小学校水泳大会(井田小・三島小)
- ・夏季実技講習会開始(8・4)
- ・第53回愛知県中学校総合体育大会(8・3)
- ・第21回東海中学校総合体育大会(10)
- ・陸上男子二年百M 優勝 美川中二年 酒井シェリコ
- ・第19回全国アーチリー大会
- ・優勝 男子18・18M 東海中二年 高木力哉
- ・女子30・30M 東海中三年 加藤三奈
- ・平成11年度全国中学校体育大会(25)
- ・第16回NHK全国中学校放送コンテスト
- ・優良賞 常磐中三年 中島佑実
- ・チャレンジ イン サマーキャンプ(26) (少年自然の家)
- ・岡崎市統計グラフ表彰式(福祉会館)
- ・全日本吹奏楽連盟特別演奏会 ロリリエット賞 竜美丘小学校
- ・第54回東海吹奏楽コンクール 中学校B編成の部 金賞 岩津中学校
- ・第2回文化のつどい(中央総合公園武道場)
- ・第66回NHK全国学校音楽コンクール 東海北陸ブロックコンクール
- ・中学校の部 銀賞 六ツ美北中学校
- ・第49次教育研究岡崎集会(北中・大樹寺小)
- ・吹奏楽祭(市民会館)
- ・第52回全日本合唱コンクール中部大会 金賞 六ツ美北中学校
- ・メンタルサポートクラブ事業開始
- ・第38回岡崎市小学校陸上競技大会(県岡崎総合運動場)
- ・第42回中部日本吹奏楽コンクール
- ・神納杯・浜松教育委員会賞 竜海中学校
- ・第34回CBC子ども音楽コンクール東海地区大会
- ・最優秀賞 矢作南小学校 六ツ美北中学校
- ・中学生ニューポートビーチ市訪問(10・15)
- ・第46回理科作品展(中央総合公園武道場)
- ・第26回技術・家庭科作品展(中央総合公園武道場)
- ・第46回岡崎市民体育祭(中央総合公園)
- ・第31回岡崎中学校新人総合体育大会(24 水泳9・4)



▶全国緑の少年団活動発表大会でみどりの奨励賞・松本賞を受賞した男川小学校



▶岡崎市教育文化賞を受賞した岡崎市子ども伝統芸能祭実行委員会(写真は細川小学校の三河万歳)



▶環境保全関係活動功労者表彰で愛知県知事表彰を受けた矢作北中学校生徒会の河川美化活動





## 平成11年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
5月25日	生 平小	教育全般	自ら学ぶ意欲を持つ、心豊かな子供の育成 —愛鳥活動、パソコン活用を通して—	従来から行っている愛鳥活動を軸として、平成8年度より、新たにパソコンの有効活用を取り入れ、心豊かな子供の育成をめざして研究実践に取り組んだ。	研究物 紀要 指導案綴 実践CD-ROM 講師 名古屋大学教授 大谷 尚先生 元県校長会長 中村 巽先生 連尺小学校長 伊藤 安彦先生
6月1日	福 岡小	教科指導	豊かな心を育む児童詩教育	平成4年度より、自分や友達の思いを大切に、共に生きていこうとする心を育むために、感じる力・表現する力・お互いを認め合う心を育てる児童詩教育を実践してきた。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 実践資料集
6月18日	南 中	教科指導	生徒理解を基盤とした学級経営・教科経営	平成9年度に岡崎市教育委員会より教科指導で研究委嘱を受けた。本校はこの十年來生徒指導に重点を置いてきたが、その上にならって研究実践を重ねた。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 学年・学級・教科経営案 助言者 岡崎市教科指導員
6月29日	広 幡小	教科指導	学ぶ喜びが育つ授業 —学習の自立を促す教師支援—	子供たちが生活の中で見出した素朴な疑問や問題意識を大切に、主体的に学習できるように、5段階の単元を構想し、それぞれの段階ごとに教師支援のあり方を模索した。	研究物 研究紀要 学習指導案 講師 東京学芸大学教授 伊藤 説朗先生
7月6日	連 尺小	教育全般	「生きる力」を育む教育活動の創造 —体験活動で創る環境教育—	教科学習の充実と図書館教育の推進を通して培ってきた「生きる力」の基礎となる資質や能力を、環境教育を地域社会とともに推進することで伸ばさせるべく研究実践した。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 出版図書 講師 『体験活動で創る環境教育』 愛知教育大学教授 川上 昭吾先生
9月28日	大 門小	教育全般	心豊かに生き生きと活動する大門っ子の育成 —自ら考え、判断し、ともに行動できる子をめざして—	気づく心を育むことを目標とした3領域、読書（感じる心）、道徳（省みる心）、作文（見つめる心）と考え、実行する場として特別活動（認め合う活動）を中心に実践した。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 講師 文部省特別活動調査官 宮川 八岐先生 日赤愛知支部 石川 貢先生
10月15日	小 豆坂小	教育全般	子どもの自ら度を高める教育 —自然・社会との共生をめざして—	主体的な問題解決力と総合的な見方や感性を育成し、自然や社会と共生できる子を目標とした。手法として、選択・発信・愛着・異学年交流・総合的な学習を軸にして実践した。	研究物 研究紀要 学習指導案 講師 愛知教育大学教授 川上 昭吾先生
10月30日	竜 海中	教科指導	自ら追究し、自己向上をめざす生徒の育成 —教科学習を中心に—	“自己向上”を『生きる力の育成、実生活に応用・発展できる学びの充実、自己教育力のさらなる構築』と押さえ、生徒一人一人のもつ総合的な力の一層の向上をめざす。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 助言者 市内各教科指導員
11月5日	岩 津小	教育全般	自ら学び、自分らしく追究する子の育成 —子供の意欲が持続する単元の構築とその授業—	子供の意欲づけに焦点をあて、「題材の発掘と体験の重視」「授業展開の工夫」「他教科との関連」「地域との関わり」の4つを重点項目に設定し、研究実践に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 講師 愛知教育大学教授 橘田 紘洋先生 愛知教育大学教授 西村 敬子先生
11月12日	福 岡中	生徒指導	目を輝かせ、自ら進んで活動する生徒の育成	平成10年度より、生徒理解、生徒活動の重視、地域との連携の強化の3点に焦点を当て、生徒の自主性や思いやりの心を育てるための研究実践を行ってきた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 県教育委員会義務教育課 指導主事 若山 栄一先生 同主査 鈴木 雅人先生
11月26日	上 地小	教育全般	学級づくりを基盤とした学習指導 —学び合う喜びのある授業—	子供たちが確かな存在感を持ち、楽しく学べる学級をつくるのが、学校生活すべての出発点の考えの下、子供たちが主体的に学び合う姿を具現化する方法を模索した。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 講師 青山学院大学講師 能瀬外喜雄先生



平成11年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教科領域	研究主題
磯村 彰久	連尺	国語	子どもたちの意欲を生かしながら、「伝え合う」力を育てる「書くこと」の指導
太田 幹也	北	英語	進んで英語でコミュニケーションを図る生徒を目指して

<論文入賞者数>

	個人	共同	合計
小学校	92	9	101
中学校	45	8	53
合計	137	17	154

優秀賞

田中 俊男	羽根	国語	楽しく学びながら確かな力をつける学習
清松 治子	広幡	国語	目的意識・相手意識を持って自分の考えを伝えようとする子の育成
平国 亮子	福岡	国語	豊かな心を育む児童詩教育
大西 裕子	矢作東	国語	確かで豊かな音声言語表現力を伸ばす指導
寄田加津子	岩津	書写	文字を正しく整えて書き、書写の能力を生活に役立てられる子の育成
村田 貴志	梅園	社会	郷土の史的財産にふれ、歴史的事象に対しての思いを育む社会科の授業を目指して
長谷川雄一	岡崎	社会	笑顔いっぱい学ぶ楽しさを味わい生き方を問う社会科の授業
日置 正敏	本宿	社会	進んで追究し考える子供の育成
石原喜代美	六西部	社会	自ら学ぶ楽しさを味わい、生き方を問う学習の創造
船越 学	六西部	社会	実際のお話や体験活動から命の尊さに迫る歴史の授業
田村 康則	竜美丘	算数	算数的活動を重視し、学ぶ楽しさを味わわせる授業
成瀬 雄一	矢作東	算数	算数的活動を通して、子供たちが主体的に学ぶ算数の学習
杉田ひろ子	竜美丘	理科	生きる力を育む理科学習
平野 泉	根石	生活	身近な人に進んで働きかけ自らの生活を豊かにする子の育成
田野 満子	井田	生活	自分で目当てを持ち、進んで活動する子供の育成
斎藤優理子	竜谷	生活	自ら考える力をもち、自立できる子の育成
池田 芳浩	生平	生活	身近な自然に目を向け主体的に学ぶ子供の育成
河上 咲子	城南	生活	人や自分の良さに気付き、生きる力を育む子
北原理恵子	広幡	音楽	自分の想いを豊かに表現する子を目指して
板倉 恵	福岡	図工	表現活動を楽しみ、自分の思いをのびのびと表現できる子に
浅井 真人	連尺	体育	子供がイキイキと活動する体育の学習を目指して
高嶽 利行	竜美丘	道徳	総合単元的な学習を組み込み自己への問い掛けを大切に道徳教育
石川 洋実	六西部	特別活動	心豊かな子供の育成
藤原千恵美	広幡	特殊教育	自分の思いを表現し、友達と進んで関わろうとする子をめざして
原田 尚子	図書館	図書	読書の楽しさを知り、進んで表現できる子をめざして
内山彩由実	常磐南	学校保健	食べることの大切さに気づき、食べ物を大切にしている子の育成
原田 康成	梅園	教育総合	学び方を身につけ、活かすために学校・家庭・(地域)社会が出来ること
西脇ゆうみ	男川	教育総合	やさしい心をもつ豊かな表現ができる子をめざして
井上久美子	山中	教育総合	自然環境を大切にすることを育てる学習
清水 範彦	六中部	教育総合	自ら問題を見つけ、意欲的に追究する子の育成
佐々木八津子	城南	教育総合	意欲を持って主体的に行動する子の育成
神谷あけみ	河合	国語	論理的文章の「理解」から「表現」を目指す生徒を育てる国語の授業
早川 哲也	六ッ美	社会	学ぶ楽しさを味わい、生き方を問う社会科の授業
小玉 英次	竜海	理科	自ら自然にはたきかけ、将来の自然の姿を創造する授業
羽根潤一夫	城北	理科	地域の自然を探り、環境について考える生徒の育成
内田 正信	六ッ美	音楽	自らの想いを深め、豊かな表情で表現できる生徒の育成
太田 幹雄	常磐	美術	個を見つめ、共に輝く常磐の美術
松井 昭宏	東海	保健体育	互いに心を開き、共感できる体育の授業
市川 陽明	岩津	保健体育	運動の楽しさや喜びを感じ主体的に運動に取り組む生徒の育成
小川 有理	竜南	保健体育	体全体で表現する楽しさを味わうダンスの学習
本多みどり	城北	英語	国際社会に生きる生徒の育成
松野 卓郎	東海	道徳	人間愛を育む道徳指導
山田 義仁	葵	特別活動	夢と現実を近づける進路指導
岡田 幸夫	六ッ美	特殊教育	人とかかわるための基礎作り
峰須賀 隆	六ッ美北	特殊教育	満足感を味わい「生活する力」を伸ばす宿泊学習

佳作

長坂 寿子	緑丘	国語	鈴木 正統	城南	特別活動
鈴木 悦子	緑丘	国語	清水かをり	山中	特殊教育
萩原 高代	連尺	国語	本間 茂夫	山中	視聴情報
丹羽 郁人	井田	国語	田村実千子	根石	図書館
瀧本 彰恵	岩津	国語	鈴木のり子	大門	図書館
守屋 恵美	大門	国語	河合 美保	生平	学校保健
山崎 希	矢作東	国語	中野渡妙子	岩津	学校保健
堀田 史	矢作南	国語	田中 啓之	美合	教育総合
千賀しのぶ	六名	書写	村井ちみ子	井田	教育総合
梅島千津子	本宿	書写	安杖 康則	山中	教育総合
峯名 治美	緑丘	社会	兼田 里美	矢作西	教育総合
嵐 朋子	広幡	社会	都築真美子	六北部	教育総合
三浦 裕昌	広幡	社会	嘉森 環	六北部	教育総合
加納 隆	井田	社会	加藤 嘉一	六南部	教育総合
鈴木 孝広	大樹寺	社会	森下 成樹	北野	教育総合
小川真奈美	大樹寺	社会	近藤久美子	竜海	国語
川本 祐二	小豆坂	社会	安藤美也子	葵	国語
堺 正司	六西部	社会	菅沼 健	葵	国語
鈴木 勝久	梅園	算数	河合由起子	城北	国語
高嶽 利行	竜美丘	算数	杉浦 雅也	常磐	国語
竹内 昭博	本宿	算数	山本 伸	竜南	国語
三上美佐子	矢作東	算数	松浦 良昭	葵	社会
林 尚子	矢作北	算数	小林 憲	竜南	社会
安藤 太平	六北部	算数	坂本 雄士	六ッ美	数学
児玉 洋行	羽根	理科	植田 進一	竜南	数学
香川 哲範	広幡	理科	渋谷 昌彦	六ッ美北	数学
川端 啓介	上地	理科	柴田 昌一	葵	理科
寺澤 益実	北野	理科	服部 竜哉	東海	理科
本多 教江	男川	生活	柴田 貴子	甲山	音楽
高松 順子	連尺	生活	早川 周宏	六ッ美北	美術
濱田 律子	広幡	生活	畔柳 朋典	常磐	保健体育
佐藤 優美	大門	生活	広田 あい	六ッ美	保健体育
後藤 充人	六中部	生活	岩間 謙二	竜南	保健体育
鳥居 光世	根石	図工	近藤 善紀	竜南	技術家庭
小川 恵子	岩津	図工	澤入 弘美	城北	英語
香川 恵美	岡崎	体育	長瀬 千春	東海	英語
野村 博紀	常磐南	体育	吉留 貴子	六ッ美	英語
山本 照司	大樹寺	体育	小川 知里	六ッ美北	英語
小田 昌男	上地	体育	大野 幸代	矢作北	特別活動
都筑 郁代	梅園	家庭	紀平 高之	六ッ美	視聴情報
荒井 留美	広幡	家庭	小田 哲也	竜南	視聴情報
中根 理恵	広幡	道徳	浅井 圭子	竜南	図書館
内田 憲郎	六南部	道徳	富田三津子	竜南	学校保健
福岡 吾隆	美合	特別活動	今枝 武司	城北	教育総合
田中 鉄也	三島	特別活動	野々山こず江	常磐	教育総合

●共同研究の部

最優秀賞

現職教育部 太田 恭子	矢作東	国語	確かで豊かな音声言語表現力を伸ばす指導
現職教育部 山口 直純	福岡	生徒指導	目を輝かせ、自ら進んで活動する生徒の育成

優秀賞

2年生部会 重野 由佳	連尺	生活	自然に親しみ、感じ、考え、活動する生活科の授業
3年生部会 原田 真弓	六西部	道徳	生命の大切さを実感することによって、思いやりの心を育てる道徳教育
6年生部会 浅井 君枝	山中	特別活動	自他の生命を尊重し、人としてよりよく生きようとする子供を目指して
理科部 吉見 孝仁	南	理科	生徒の学習意欲を高める理科学習を目指して
研究推進部 森 竜師	城北	視聴情報	主体的に学ぶ生徒を育む通信型マルチメディアの活用

佳作

3年部会 都築 民子	六名	社会	保健体育部 清水佐知子	竜海	保健体育
現職教育部 田村 康則	竜美丘	視聴情報	現職教育部 兵藤 雅春	六ッ美	特別活動
6年生部会 伊藤 悦子	緑丘	教育総合	特殊教育部 柴田由美子	竜海	特殊教育
6年生部会 安藤 直哉	連尺	教育総合	特殊教育部 岡安美智子	城北	特殊教育
現職教育部 内藤 法雄	大門	教育総合	現職教育部 近藤 文彦	矢作北	教育総合

# ふれあい

## A子とOさんの出会い

幸田小学校

内藤 隆之

五年生なのに、私の背中に跳びついたりひざの上ののつたりする甘えん坊のA子。いつもやる気の陰に心配性なところが見え隠れする。

六月の「ほなみ学習」(本校の総合的な学習)の時間、A子は点字について調べていた。

「本は見つからないし、どうしよう。どうしよう。」

困っていたA子に、昨年学校に来てくださった目の不自由なOさんに点字の手紙を出すことを勧めた。喜んだA子は、点字表とにらめっこしながら長い時間をかけて点字の手紙を完成させた。

手紙を送って数日後、A子は返事のこないことを気にしました。

「届かなかったのかなあ。点字がまちがっていたのかな。」

そこで、Oさんに電話をかけることを勧めた。

受話器を握りしめるA子の緊張感がひしひしと伝わってきた。

「もしもし、Oさんですか。」

幸田小五の一のA子です。

お手紙届きましたか…。」

電話を終えたA子の顔がぱつと明るくなった。

この電話で、Oさんが五年

一組に来てくださることになり、急ぎよ交流会を計画した。

会の当日、A子はOさんをバス停から教室まで案内する役を買って出た。

十二月。Oさんとの三回目の交流会では、はりきって司

会をするA子の姿があった。

(広域派遣教員)



# 同師行弟

## 自分に厳しく

梅園小学校

鈴木 勝久

先日、先生が梅園小に所用でみえたとき、二十四年前中学一年の担任していた日記憶がよみがえってきました。思わず後を追いかけて「六ツ美中時代にお世話になった勝久です」とあいさつをせずにはいられませんでした。

その当時中学に進学したばかりの私は、三つの小学校が集まり、新しく一緒になった友達となかなかなじめない生徒でした。そんな私を、生活日記「あゆみたしかに」を通じて励ましてくださいました。そのおかげで、私は友達の輪を広げていくことができましたように思います。



お話をする中で、先生は教師をされるかたわら、書道の作品も数多く手がけてみえたことを知りました。きっとそんな自分に厳しい先生の後ろ姿に知らず知らずのうちに、私は尊敬の念をいただき、先生と同じ数学の教師をめざしたのだと思います。

現在、書道の世界でご活躍の先生に、こうして梅園の学区で再会できたことを大変うれしく思います。先生、いつまでもお元気で過ごしてください。

## 歩みたしかに

前新香山中学校

鈴木 祐男(紫龍)

教職を去って十二年、勝久君との出会いから二十四年。声をかけられびつくり、あまりにも立派になった先生の姿

に一瞬声も出なかった。

たしか校舎増築の為、プルハブ教室の一年間だったね。「さようなら」の挨拶と同時に机をさげ清掃が始まる。その早い事誰一人怠ける子はいない。つられて私も一緒に掃除した事が思い出される。男女の協力、友への思いやり等「あゆみたしかに」を通じて随分教えられた。勿論数学のテストはいつもトップクラス。

勝久君のリーダー的存在の大きかった事を、今更のよう思い出されます。

六ツ美中には思い出が多い。見渡す限り菜の花の黄色の鮮やかさ。下校時の蛙の声。遠く白銀に輝く恵那の連峰の見える、四季折々の自然の恵みを受ける学校。それらが、たくましく、素直な子供たちを育てたのかもしれない。

あまりにも教育問題の多い今日、こわされて行く自然、世代をになう子等を守らねばと思いの募るこの頃です。

勝久先生、二十一世紀を生きたぬく子等を育てる、大きな大きな仕事です。たのむよ。



お知らせ



◆岡崎市学校保健大会表彰

岩瀬賞(体位優秀校)

- ・小学校男子 生平小学校
- ・小学校女子 井田小学校
- ・中学校男子 北中学校
- ・中学校女子 東海中学校
- ・小学校男子 生平小学校
- ・小学校女子 井田小学校
- ・中学校男子 北中学校
- ・中学校女子 東海中学校
- ・小学校男子 生平小学校
- ・小学校女子 井田小学校
- ・中学校男子 北中学校
- ・中学校女子 東海中学校

◆平成十一年度愛知県体力づくり優良校

小学校男子

- 常磐小学校
- 六ツ美中学校

◆第三十二回全三河駅伝競走大会

中学男子

- 常磐南小学校
- 六名小学校
- 竜谷小学校
- 生平小学校
- 秦梨小学校
- 常磐東小学校
- 恵田小学校
- 六ツ美部小学校
- 六ツ美部小学校

◆第三十五回一色マラソン大会

中学男子

- 常磐南小学校
- 六名小学校
- 竜谷小学校
- 生平小学校
- 秦梨小学校
- 常磐東小学校
- 恵田小学校
- 六ツ美部小学校
- 六ツ美部小学校

- 常磐南小学校
- 六名小学校
- 竜谷小学校
- 生平小学校
- 秦梨小学校
- 常磐東小学校
- 恵田小学校
- 六ツ美部小学校
- 六ツ美部小学校

- 常磐南小学校
- 六名小学校
- 竜谷小学校
- 生平小学校
- 秦梨小学校
- 常磐東小学校
- 恵田小学校
- 六ツ美部小学校
- 六ツ美部小学校

◆第四十五回青少年読書感想文

愛知県コンクール

毎日新聞社賞

- 附属中三年 酒井手古奈
- 連尺小一年 林 佑樹
- 南 中二年 小椋俊太郎

S L A賞

- 附属中一年 鈴村麻里子

◆平成十一年度全国小・中学校

パソコン作品コンテスト

- 『メディアアポスト'99』
- 佳作 男川小学校
- 城北中学校

審査員奨励賞

- 山中小学校

優勝のみ

- 三島小六年 高橋 快門
- 小学校女子 大樹寺小六年 大塚 真弓
- 中学校男子 岩津中一年 丸尾 祐矢
- 六ツ美中二年 天白 真順
- 竜南中二年 羽根 啓介
- 中学校女子 東海中一年 鈴木 友
- 城北中二年 永谷 美穂
- 矢作中三年 長尾 時依

◆第十八回全国都道府県対抗

男子駅伝競走大会

愛知県代表選手

- 東海中三年 川野 竜男
- 常磐中三年 鷲見 知彦
- 竜海中二年 伊藤 正人

◆第十八回新春乙川マラソン大会

優勝のみ

小学校男子

- 三島小六年 高橋 快門
- 小学校女子 大樹寺小六年 大塚 真弓
- 中学校男子 岩津中一年 丸尾 祐矢
- 六ツ美中二年 天白 真順
- 竜南中二年 羽根 啓介
- 中学校女子 東海中一年 鈴木 友
- 城北中二年 永谷 美穂
- 矢作中三年 長尾 時依

◆交通安全第五十一回岡崎市民

駅伝競走大会

男子の部

- 優勝 東海中学校 A
- 二位 六ツ美北中学校 A
- 三位 竜南中学校 A
- 四位 南中学校 A
- 五位 六ツ美中学校 A
- 六位 福岡中学校 A

- 七区 東海中 川野 竜男
- 八区 東海中 加藤 正幸
- 九区 東海中 川野 幸大

女子の部

- 優勝 矢作中学校
- 二位 城北中学校 A
- 三位 六ツ美中学校
- 四位 竜南中学校 A
- 五位 六ツ美北中学校 A
- 六位 南中学校 A

《区間賞》

- 一区 常磐中 鷲見 知彦
- 二区 六北中 竹城フアビオ
- 三区 矢北中 宮崎 克也
- 四区 竜南中 西村 允孝
- 五区 竜南中 鈴木 哲司
- 六区 六北中 池田 竜一

《区間賞》

- 一区 矢作中 杉浦 恵子
- 二区 六ツ美中 佐竹紗也加
- 三区 城北中 北村 友恵
- 四区 矢作中 長尾 時依
- 五区 六ツ美中 稲垣 志帆



▲第51回岡崎市民駅伝競走大会(1月16日)

# フォト・ヒストリー 岡崎の教育

## 校歌誕生 (昭和38年)

・カット

甲山中 長坂博子

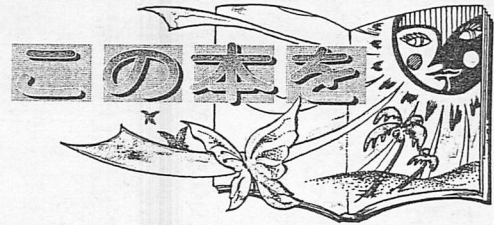
今ではどの学校にもある校歌。最近の新設校では創立の年度に校歌も作られるのが一般的であるが、昔は校歌のない学校も珍しくなかった。校歌誕生にまつわる学校独自の逸話が残されているところもある。

常磐南小学校の場合、校歌誕生のきっかけは、修学旅行や遠足でバスガイドより「校歌をどうぞ」と言われることであつたという。子供たちは歌うことができず、顔を見合わせ恥ずかしそうにしていたそうだ。

そこで、第十四代校長、鈴木正三郎先生の発案で、学区在住の職員であつた太田義昭先生が地元や職員の意見などを取り入れて作詞された。そして音楽担当の白井絃子先生が作曲され、昭和三十八年に誕生したという。



写真提供 常磐南小



- \*われ生きたり 金 嬉老 新潮社 ¥1500
- \*メコンに輝け 桜小学校 小山内美江子 佼成出版社 ¥1300
- \*学校心理学 石隈利紀 誠信書房 ¥3800
- \*新聞・ニュースがスラスラわかる実用経済学 PHP研究所 西野武彦 ¥1350

\* 2000年間で最大の発明は何か  
ジョン・ブロックマン 草思社 ¥1575

著者は、「2000年間で最大の発明は何か、その理由は」との問いを1998年11月にEメールで発した。多数の科学者、哲学者、企業家から回答があつた。その中から百通をまとめたのが、この本。

印刷術、科学の組織化、インド・アラビア計算法などは、複数の人が第1位に推している。発明を通して過去2000年を振り返ることは、人類の未来への鍵があるのだということを知らされる。

オートメーションによる効率的な物作りが多いなか、三浦さんは、今なお一つの和太鼓を手間暇かけて丹念に作っている。

こうした職人の熟練した技能と情熱が、聴く者の心を動かす響きや音色を作り出すのだろう。

**シ** **オ**  
**ス** **ア**

証書を受け取る子供たちの顔。卒業式での彼らの表情は、これまで見せたこともないような大人びた雰囲気をもし出す。いつから子供たちはこんな表情をするようになったのだろう。巣立ちの時を喜びながらも、心の片隅に寂しさがよぎる。複雑な季節が訪れる。

赤ワインは、作られた場所や土壌、醸造法や熟成期間により、様々な表情を持つ。輝きのある色、奥深い香り、豊かな味わいが体を包む。出会ったところから今までをゆつくり思い返してみる。

おめでとう。未来に向かって、新しい旅立ちに、乾杯。

墨で書かれた文字には、人の心をゆさぶる力があるので、人は目にするたびに自尊心や向上心をかきたてられもする。一枚一枚の賞状を丁寧に書きためる人の存在がまた、子供たちの成長を支えている。